

第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のための各種調査について

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(1) 目的

第8期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定にあたり、既存データでは把握困難な高齢者の実態や意識・意向を調査・分析し、計画策定の基礎資料とすることを目的としている。

(2) 実施要領

- 調査期間 令和2年1月8日~令和2年1月24日
- 調査対象者 要介護認定を受けていない65歳以上の方及び要支援1・2の方、介護予防日常生活支援総合事業対象者の方から無作為に抽出
- 調査方法 郵送による配布・回収
- 内容 生活の状況や要介護リスク、社会参加についてアンケート方式で回答するもの
<主な項目>
独居・高齢夫婦のみ世帯、買い物・配食ニーズ、介護必要・有無、生活苦、手段的・情緒的支援者、主観的健康観・幸福感
運動器・口腔・認知機能、転倒、低栄養、閉じこもり、うつ傾向、IADL、ボランティア、スポーツ、趣味、学習、地域参加・企画意向

(3) 回答結果

配布数	回収数	有効回収数	有効回答率
1,700件	1,187件	1,155件	67.9%

(4) 調査結果の概要

一般高齢者／事業対象者／要支援者それぞれの区分ごとに第7期介護保険事業計画時の調査結果と経年比較を行うと「認知機能」「うつ傾向」のリスクが一般高齢者、要支援者において少し高まっている。また、ボランティアなどの地域活動への参加意欲が低下している。他の項目では、多少のばらつきがあるものの概ね維持をしている。

一般高齢者及び事業対象者、要支援者をそれぞれ比較すると独居や情緒的支援・手段的支援等の項目で大きな差異があり、要介護リスクが高まる要因であることがわかる。身体的機能（運動器機能、IADL、転倒リスク）においても段階的に差があるものの、認知機能やうつ傾向などの他のリスクについては区分ごとの大きなばらつきはなかった。

一般高齢者

	認知機能	うつ傾向	咀嚼機能	転倒	閉じこもり	運動器機能	低栄養	IADL
第7期 (H28)	35.1	37.5	24.0	25.6	9.9	7.1	8.6	2.9
第8期 (R1)	42.2	41.2	19.8	29.3	12.2	12.0	7.3	2.7

	ボラン ティア	スポーツ クラブ	趣味関係	学習教養	参加意向	企画意向
第7期 (H28)	13.0	27.1	34.9	11.6	60.6	33.2
第8期 (R1)	15.5	25.5	37.9	12.1	49.9	31.8

	独居	高齢夫婦 のみ	介護が 必要	暮らし 苦しい	情緒的 支援者	手段的 支援者	主観的 健康感	主観的 幸福感
第7期 (H28)	16.6	45.7	1.7	32.4	93.0	88.5	83.3	49.4
第8期 (R1)	17.0	50.5	3.1	33.2	92.8	84.4	82.9	50.5

事業対象者

	認知機能	うつ傾向	咀嚼機能	転倒	閉じこもり	運動器機能	低栄養	IADL
第7期 (H28)	-	-	-	-	-	-	-	-
第8期 (R1)	63.6	47.0	48.5	43.9	34.8	56.1	7.6	7.6

	ボラン ティア	スポーツ クラブ	趣味関係	学習教養	参加意向	企画意向
第7期 (H28)	-	-	-	-	-	-
第8期 (R1)	13.4	9.8	31.4	12.9	52.4	27.2

	独居	高齢夫婦 のみ	介護が 必要	暮らし 苦しい	情緒的 支援者	手段的 支援者	主観的 健康感	主観的 幸福感
第7期 (H28)	-	-	-	-	-	-	-	-
第8期 (R1)	40.1	38.4	35.2	30.4	79.0	63.0	69.0	42.0

要支援1・2

	認知機能	うつ傾向	咀嚼機能	転倒	閉じこもり	運動器機能	低栄養	IADL
第7期 (H28)	62.1	53.7	44.1	63.8	31.6	67.1	11.6	20.8
第8期 (R1)	58.0	61.7	47.7	55.5	39.0	63.8	13.5	23.7

	ボラン ティア	スポーツ クラブ	趣味関係	学習教養	参加意向	企画意向
第7期 (H28)	7.6	12.6	23.4	5.4	45.1	22.6
第8期 (R1)	7.7	12.9	20.1	8.4	37.0	17.5

	独居	高齢夫婦 のみ	介護が 必要	暮らし 苦しい	情緒的 支援者	手段的 支援者	主観的 健康感	主観的 幸福感
第7期 (H28)	39.6	29.1	43.4	37.8	79.5	53.6	52.5	30.0
第8期 (R1)	37.2	33.1	49.7	34.7	78.9	58.8	45.1	30.0

2. 在宅介護実態調査

(1) 目的

第8期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定にあたり、新たに「家族の介護のために仕事をやめなくてもよいようにしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を盛り込むため、「高齢者が安心して自宅での生活を続けること」と「家族など介護者の方が仕事を続けること」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的としている。

(2) 実施要領

- 調査期間 令和元年6月～令和2年3月
- 調査対象者 要介護の認定調査を受けられる方で、更新申請・区分変更申請の方のうち、在宅の方
- 調査方法 認定調査員による聞き取り調査
- 内容 基本項目9項目とオプション項目10項目について、訪問調査員による聞き取り調査を行い、介護保険サービスの利用が在宅生活の継続や介護者の就労継続に与える影響に着目した調査を行うもの

(3) 回答結果

配布数	回収数	有効回収数	有効回答率
587件	587件	575件	97.9%

(4) 調査結果の概要

第7期介護保険事業計画策定時の調査結果と比較すると、介護の頻度や介護者の高齢化など負担感が増加してきているが、行っている介護の内容は生活支援等が中心であることから比較的軽度の方が多いことが推測される。

介護者が不安に感じる介護においては、「認知症への対応」が一番多く3割以上を占めることから、認知症に関する普及啓発や認知症支援の推進を図っていく必要がある。また、介護サービスを利用しない理由において、「本人の希望がない」という方が多いことから介護保険制度の趣旨普及や介護サービスへの抵抗感の軽減を促進していく。

在宅における介護では、介護サービスでは行いきれない外出支援や移送サービスへの需要がある。

介護休暇や時短勤務、在宅勤務などの制度の利用が促進されておらず、制度自体の普及啓発や介護に係る相談窓口の周知が必要である。

3. 第8期介護保険事業計画策定に向けた地域実態調査（市独自）

（1） 目的

第8期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定にあたり、地域において高齢者への支援を担う民生委員、地区福祉委員向けに地域実態調査を行い、地域の課題を整理・分析することを目的としている。

（2） 実施要領

- 調査期間 令和2年5月～令和2年6月
- 調査対象者 民生委員・児童委員及び地区福祉委員
- 調査方法 無記名による郵送調査。ただし、担当している地域は記載。
- 内容 地域において高齢者を支援する立場から以下の項目について、アンケート形式で調査を行う。設問内容は、支援者としての主観的な感覚を問うものである。
全10問
 - 地域包括ケアシステムについて
 - 地域における支援の実態について
 - 認知症について
 - 地域の住みやすさについて など

（3） 回答結果

配布数	回収数	有効回収数	有効回答率
172件	117件	117件	68.0%

（4） 調査結果の概要

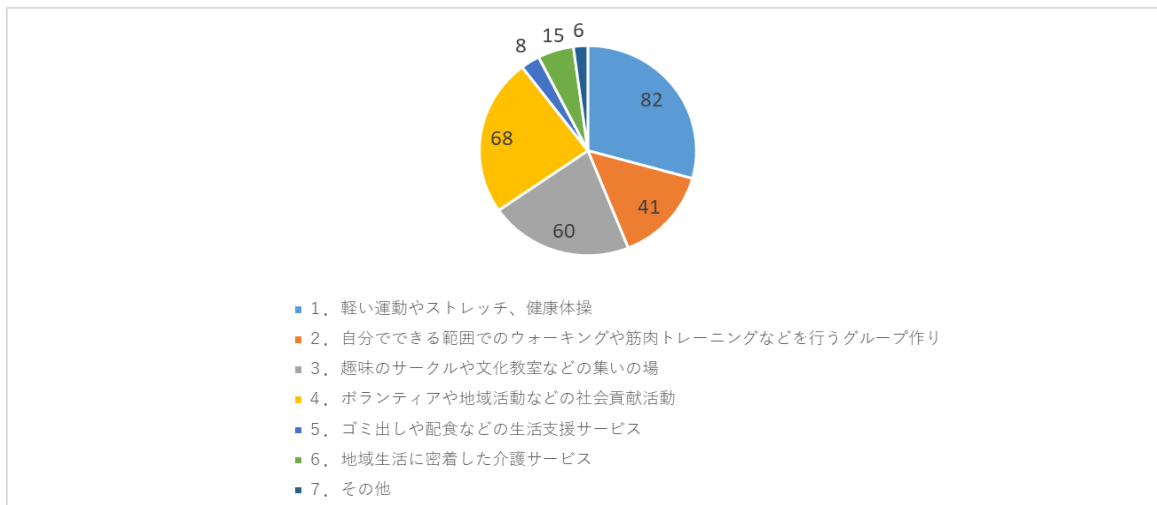
地域における支援の実態として、日常的な見守りや話し相手などへのニーズが高く、社会的なつながりが求められている。また、参加したい又は始めたい地域活動として、軽い運動や健康体操などが多い。

認知症関連では、認知症への正しい理解や身近な認知症の相談窓口の充実、専門職の関与が必要となっている。

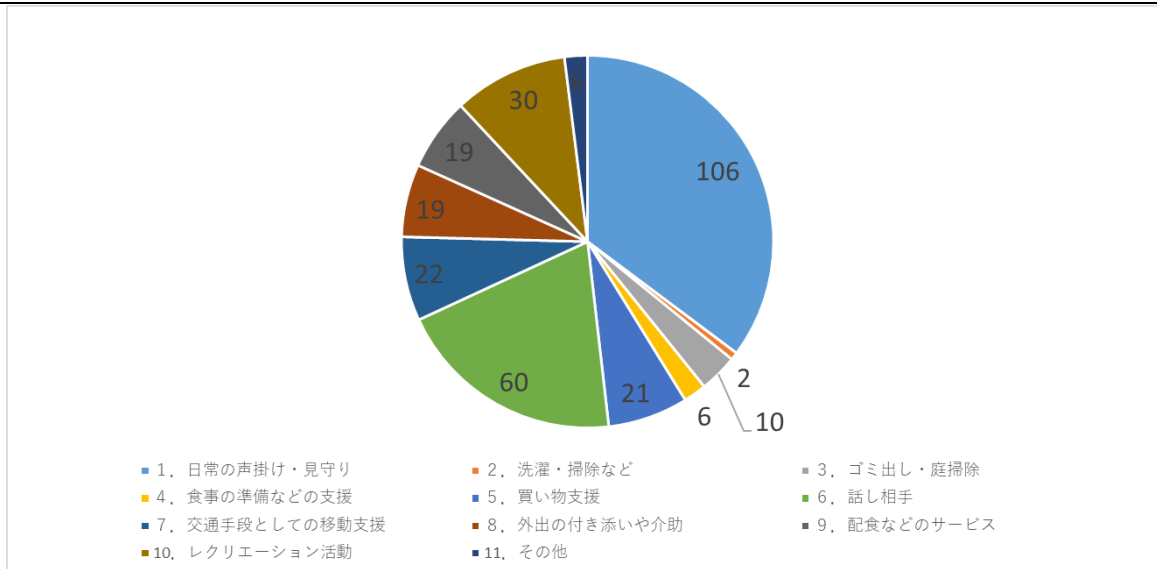
住みやすさに関する設問では、主観的な感覚を点数化し、平均7.3点であった。

自由記載では、対象者とのかかわり方やそれに伴う情報連携についての意見が多かった。支援者の高齢化による地域力低下への懸念も多数あった。

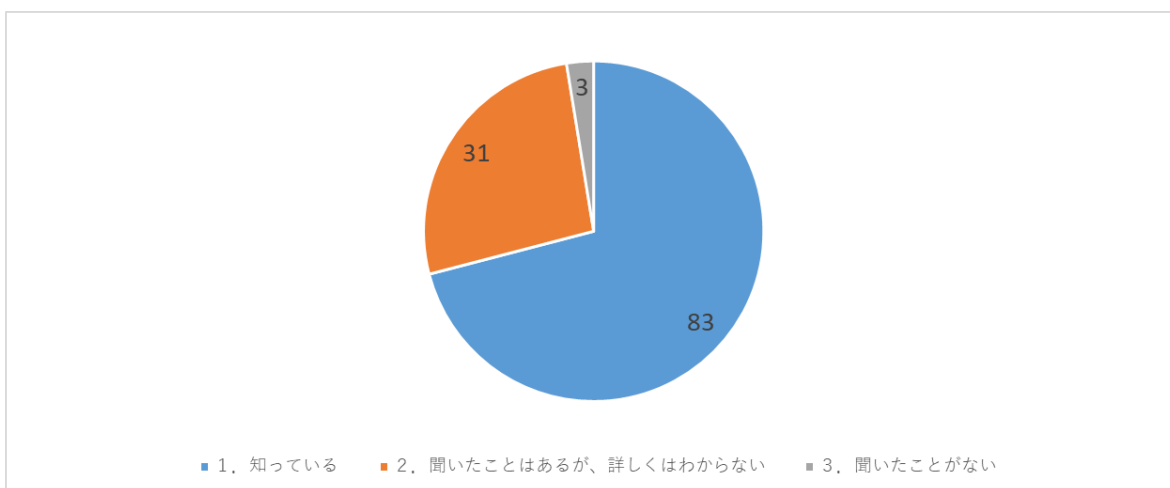
介護を受ける状態になることを予防するために、また今の状態より悪化させないために地域で取り組んでいること又は参加したいことや始めたい取り組みについて



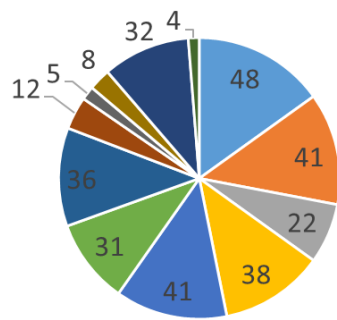
地域において、高齢者が日常的な支援ニーズについて



地域包括ケアシステムについて

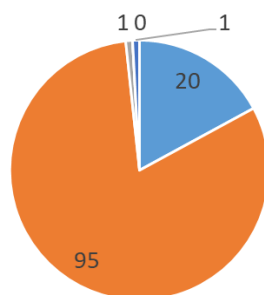


高齢者が住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるため、必要なこと



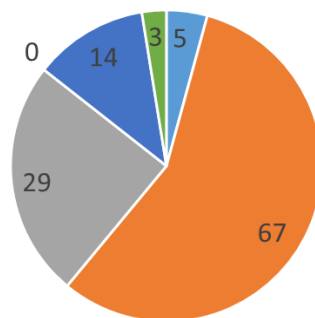
- 1. 介護保険サービスの利用料が負担とならないようにすること
- 2. 家族介護者への支援を行うこと
- 3. ボランティアやNPOなど、地域住民全体で高齢者を支える体制をつくること
- 4. 介護が必要とならないよう、健康づくりや介護予防を充実すること
- 5. 在宅で過ごすための医療や介護が充実されること
- 6. 介護度が重くなっても自宅で生活が続けられるよう制度やサービスを整備すること
- 7. 24時間対応や地域の身近な場所で受けられる介護サービスを充実すること
- 8. 訪問や通所によるリハビリテーションのサービスを充実させること
- 9. 歯と口の健康のためのケア（口腔ケア）を充実すること
- 10. 高齢者向けの住宅の整備の促進
- 11. 安心して在宅生活がおくれるよう、地域や行政による見守りを充実させること
- 12. その他

「認知症」について知っていますか。



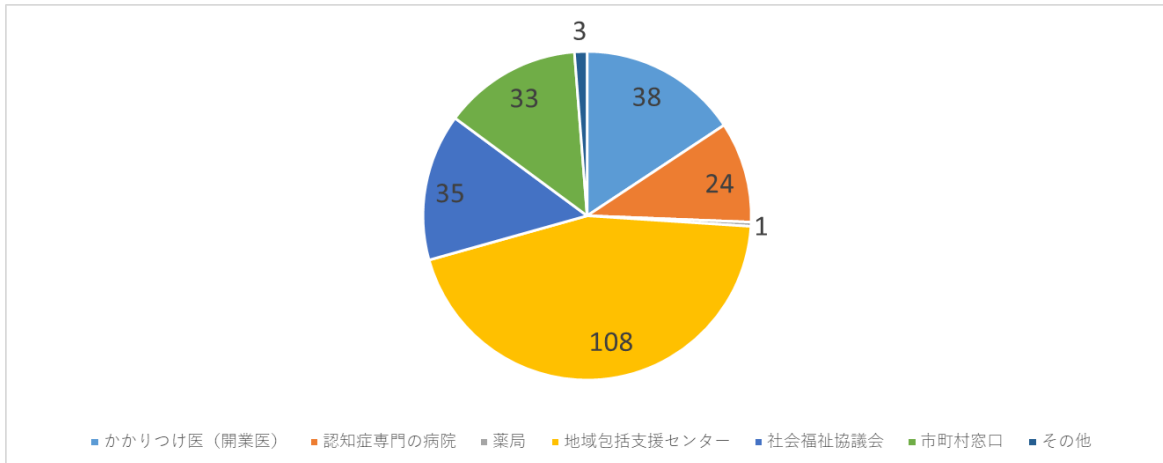
- 詳しく知っている
- ある程度は知っている
- 名前だけは聞いたことがある
- 全く知らない
- 無回答

「認知症」について知っていますか。



- 理解されている
- どちらかと言えば理解されている
- どちらかと言えば理解されていない
- 理解されていない
- わからない
- 無回答

「認知症」について相談を受けたとき、どこに相談しようと思いますか。(複数回答可)



「認知症」の早期発見や対応、当事者支援についてどのようなことが必要だと思いますか。

